

西脇市立学校学習環境規模 適正化推進計画(案)説明会

令和5年度 西脇市立学校学習環境規模適正化推進計画(案)
説明会の開催等について



託児可能
各会場5名まで
(要事前予約)

学校の規模
や配置は？

いつから
始まるの？

学校名や校歌は
どうなるの？

通学方法はど
うなるの？

小中一貫
教育って？

～ 未来を創

日時：令和5年9月2日(土) 13:30～
場所：黒田庄地区会館(黒っこプラザ)

学校規模・学校配置の基本的な方針

① 基本的な考え方

- 子どもを中心に据え、子どもにとって望ましい学習環境の実現を図る。
- 全ての学年で、一定の学習・生活集団規模の確保を目指す。

学び合い
切磋琢磨できる
規模の確保



学校規模・学校配置の基本的な方針

② 子どもたちにとってより良い学習環境 その1

- **学校運営**
教職員をバランスよく配置でき、教職員の共通理解が図れること。
- **学習活動**
班活動やグループ活動に少人数による制約がなく、協働的な学習活動ができること。
- **教科指導**
教科に応じた教員配置ができること。（中学校）



学校規模・学校配置の基本的な方針

② 子どもたちにとってより良い学習環境 その2

- **人間関係**
児童生徒の人間関係が固定化しにくいこと。
- **集団生活**
多くの人との人間関係の形成力が育成できること。
- **部活動**
生徒の興味や適性に合う部活動の選択肢が準備しやすいこと。



学校規模・学校配置の基本的な方針

② 子どもたちにとってより良い学習環境 その3

- **学校行事（体育大会・運動会、文化祭・音楽会等）**
安定的かつ効果的に運営できること。
- **学級運営**
複式学級を解消することで、多様な考え方にふれることができ、教職員の業務負担も軽減することができること。



学校規模・学校配置の基本的な方針

② 子どもたちにとってより良い学習環境 その4

- **保護者の負担**
P T A 役員や活動への負担が偏らないこと。



「子どもたちにとってより良い学習環境」とするためには、**学校にはある程度の教員数、ある程度の児童生徒数、ある程度の学級数の確保が必要**となる。

学校規模・学校配置の基本的な方針

③ 中学校の現状と今後の見込み

令和17年度までは令和5年5月1日の学校基本調査ならびに7月1日の住人基本台帳による人数、令和18年度からは人口推計による人数



	年度	R 5	R 6	R 7	R 8	R 9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16	R17	R18	R19	R20
西脇東中	新1年	27	28	26	31	12	22	17	14	13	12	12	14	15	15	14	13
	全体数	81	77	81	85	69	65	51	53	44	39	37	38	41	44	44	42
	学級数	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3
黒田庄中	新1年	54	39	46	44	38	50	36	38	28	35	27	21	18	27	25	24
	全体数	148	126	139	129	128	132	124	124	102	101	90	83	66	66	70	76
	学級数	5	4	5	5	4	5	4	4	3	3	3	3	3	3	3	3
統合校	新1年	81	67	72	75	50	72	53	52	41	47	39	35	33	42	39	37
	全体数	229	203	220	214	197	197	175	177	146	140	127	121	107	110	114	118
	学級数	8	7	7	6	6	6	6	6	6	6	5	4	3	4	4	4

※すべてが通常学級に在籍、40人学級として学級数は計算しています。

学校規模・学校配置の基本的な方針

③ 小学校の現状と今後の見込み

令和11年度までは令和5年5月1日の学校基本調査ならびに7月1日の住人基本台帳による人数、令和12年度からは人口推計による人数



	年度	R 5	R 6	R 7	R 8	R 9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16	R17	R18	R19	R20
楠丘小	新1年	24	20	18	23	14	15	11	16	15	14	14	13	13	12	12	11
	全体数	154	148	138	134	127	114	101	97	94	85	85	83	85	81	78	75
	学級数	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6
桜丘小	新1年	12	18	10	12	13	6	7	11	10	10	9	9	9	8	8	8
	全体数	99	104	96	91	87	71	66	59	59	57	53	56	58	55	53	51
	学級数	6	6	6	6	6	6	6	5	5	5	5	6	6	6	6	6
統合校	新1年	令和10年度、11年度の入学生は、令和12年度から															19
	全体数	4年間複式学級で生活することになる。															126
	学級数	11	12	11	10	9	8	7	6	6	6	6	6	6	6	6	6

学校規模・学校配置の基本的な方針

④ 適正規模

- 中学校
1学年2学級以上が確保できること
- 小学校
複式学級編制が生じないこと



学校規模・学校配置の基本的な方針

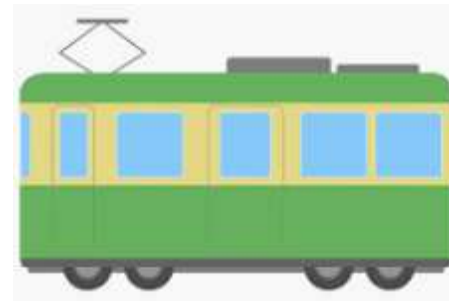
④ 適正通学条件

○ 通学時間 **おおむね 1 時間以内**

○ 徒歩・自転車の通学距離

小学生 **おおむね 4 km以内**

中学生 **おおむね 6 km以内**



学校規模・学校配置の基本的な方針

④ 適正通学条件

西脇東中学校・黒田庄中学校統合校まで **6 km以上**となる地区



学校規模・学校配置の基本的な方針

④ 適正通学条件

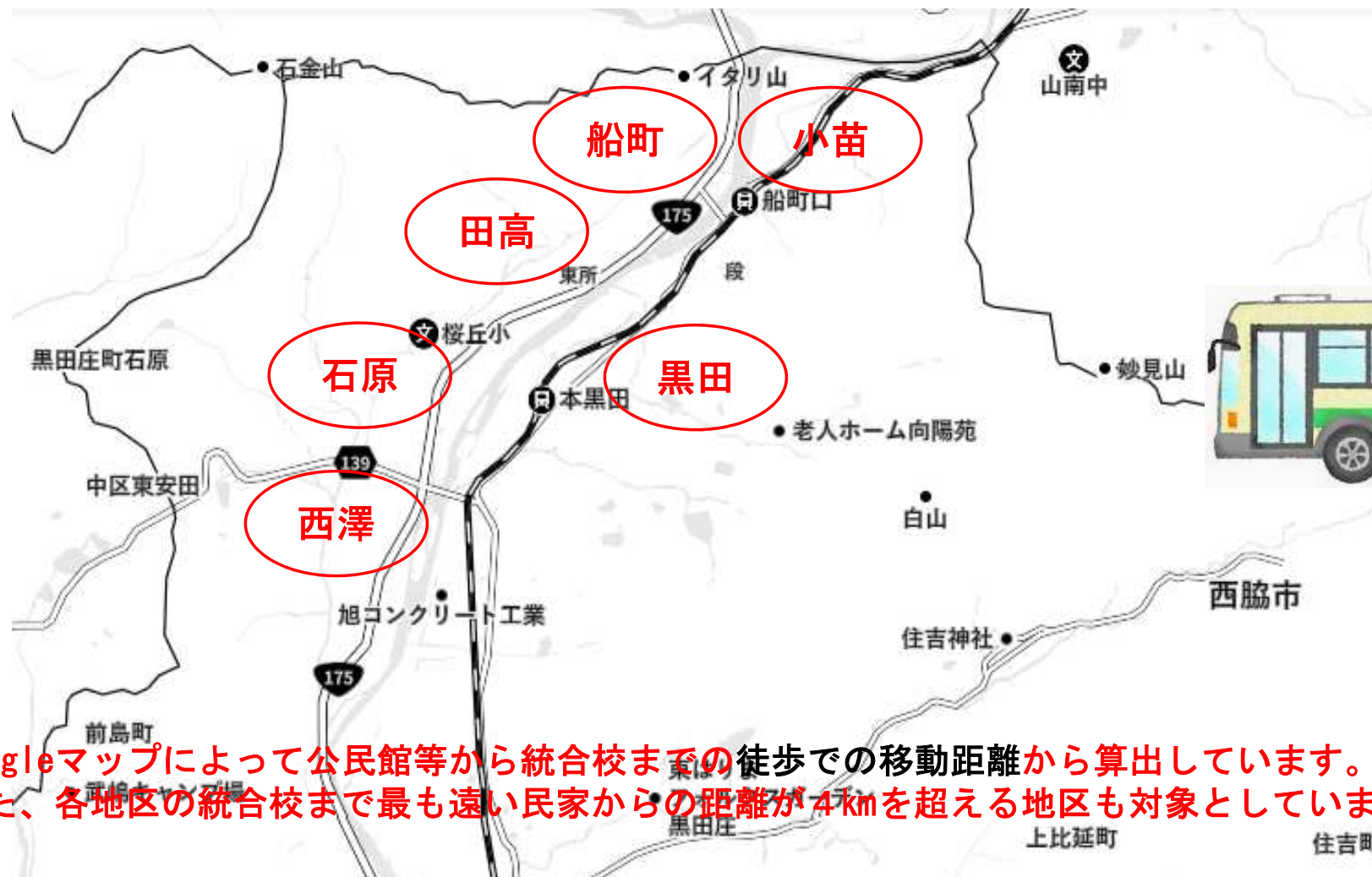
西脇東中学校・黒田庄中学校統合校まで **6 km以上**となる地区



黒田庄中学校を活用する場合

Googleマップによって公民館等から統合校までの自転車での移動距離から算出しています。また、各地区の統合校まで最も遠い民家からの距離が6 kmを超える地区も対象としています。

楠丘小学校・桜丘小学校統合校まで4 km以上となる地区



Googleマップによって公民館等から統合校までの徒歩での移動距離から算出しています。
また、各地区の統合校まで最も遠い民家からの距離が4 kmを超える地区も対象としています。

パブリックコメントや説明会でのご意見から

① 西脇東中学校を活用施設とした理由は。

1 校舎が新しい

西脇東中学校

校舎 平成4・5年
(築31・32年)

体育館 平成22年
(築13年)

黒田庄中学校

校舎 昭和58年
(築40年)

体育館 昭和58年
(築40年)

【令和19年度の生徒にとって】

西脇東中学校

築年数：44年・45年

黒田庄中学校

築年数：54年

- 答申を踏まえた「適正規模・適正配置」
- 学校としての安全・安心の持続性

パブリックコメントや説明会でのご意見から

① 西脇東中学校を活用施設とした理由は。

2 スポーツ施設 文化施設に近い

天神池スポーツセンター
西脇公園
都麻の郷交流グラウンド

岡之山美術館
経緯度地球科学館 等

○ めざす教育・教育活動推進への諸環境



パブリックコメントや説明会でのご意見から

① 西脇東中学校を活用施設とした理由は。

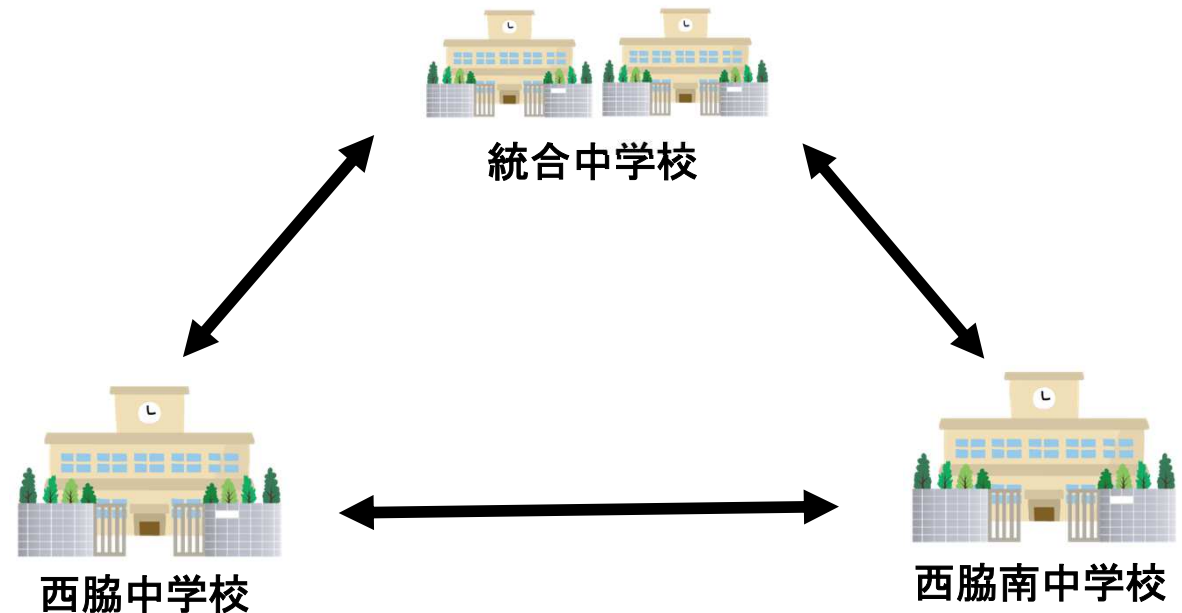
○ めざす教育・教育活動推進への諸環境

【将来の校区を超えた連携イメージ図】

3 西脇中学校
西脇南中学校に近く
連携が図りやすい

西脇東中学校	
西脇中学校	約20分
西脇南中学校	約25分

黒田庄中学校	
西脇中学校	約35分
西脇南中学校	約50分

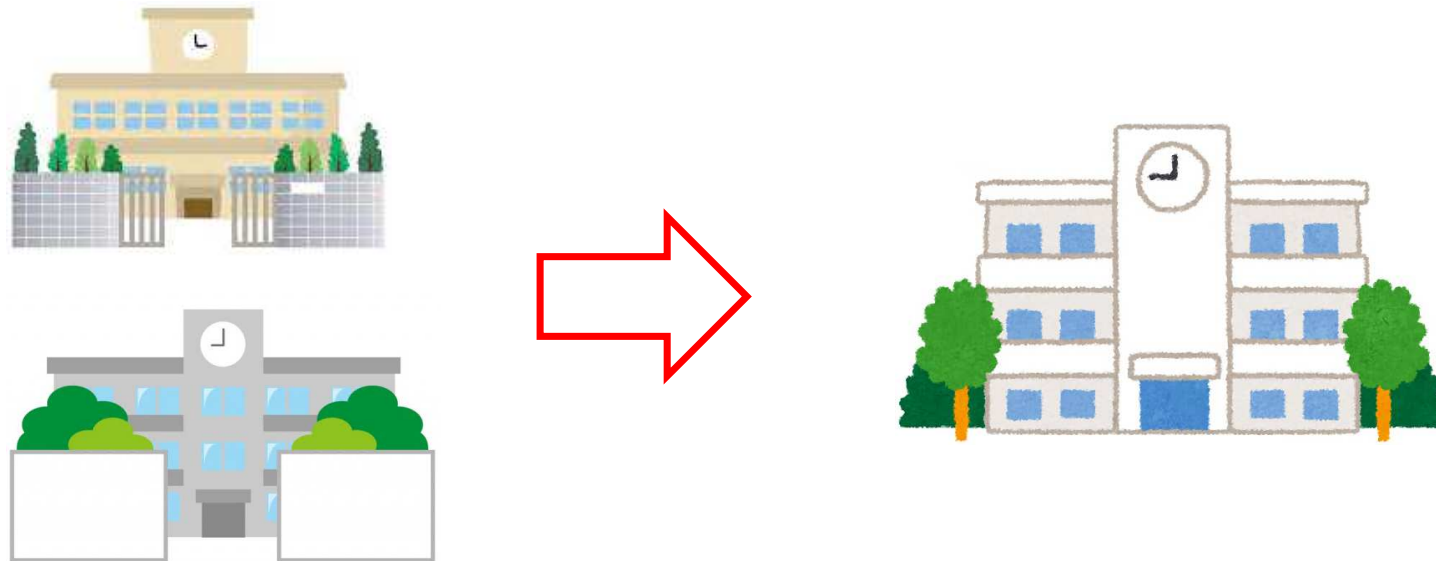


その他通学距離等を含め、**総合的に判断**

パブリックコメントや説明会でのご意見から

② なぜ、黒田庄中学校だけが廃校となるのか。

既存施設を活用しますが、**統合時に2校ともに閉校**となり、**新しい学校が誕生**します！



パブリックコメントや説明会でのご意見から

③ 西脇東中学校で教室は確保できるのか。

教科等	具体的対応
普通教室 社会・道徳・特活等	現校舎に6教室
少人数学習 数学・外国語	軽量鉄骨構造の4教室を増設することで対応
理 科	理科室：1教室 週：22時間／30時間
音 楽	音楽室：1教室 週：6時間／30時間
美 術	美術室：1教室 週：6時間／30時間
保健体育	グラウンド、体育館週：18時間／30時間
技 術	技術室（木工・金工）：1教室 週：6時間／30時間
家 庭	調理室・被服室各1教室 週：6時間／30時間

黒田庄中学校：3学級×3学年＝9学級を想定した建物

西脇東中学校：3学級×2学年＝6学級を想定した建物

パブリックコメントや説明会でのご意見から

③ 西脇東中学校で教室は確保できるのか。

施設	具体的対応
特別支援教室	1教室と被服準備室の2教室を使用。
通級指導教室	改修予定。
図書室	部屋が小さいが、各教室で対応も可能。
柔剣道場	体育の武道は「剣道」となっているため、体育館で指導。
職員室	拡張工事予定。
給食配膳室	6学級はコンテナ2～3で対応が可能のため、収納は可能。
駐輪場	約100台の駐輪は可能であるが、増築予定。
靴箱	対応可能。

黒田庄中学校：3学級×3学年＝9学級を想定した建物

西脇東中学校：3学級×2学年＝6学級を想定した建物

パブリックコメントや説明会でのご意見から

- ④ 3年間、プレハブ校舎で学校生活を送らせるのか。



**建築基準法に基づく
軽量鉄骨造の常設の校舎**

※詳細は別資料でお見せします！



建築基準法に基づく軽量鉄骨造の常設の校舎

④ 3年間、プレハブ校舎で学校生活を送らせるのか。

【現地での声】

大久保北中学校

- ・ 軽量鉄骨校舎は、3年生6学級が使用
※旧校舎（築36年）よりも快適
- ・ 2階からの物音はなく、担任からの苦情も聞いていない。
- ・ 照明は、LEDを使用。
- ・ 空調機器（エアコン）完備
- ・ 黒板に固定式のプロジェクターを配置
- ・ 外壁の厚さは20cm程度

沢池小学校

- ・ 軽量鉄骨校舎は、1年生6学級が使用
※築年数が新しい校舎から普通教室として使用
※旧校舎（築43年）よりも新しい軽量鉄骨校舎の方が人気が高い。
- ・ 1階の担任からは、2階からの物音は聞こえない。
- ・ 照明はLED、空調設備（エアコン）完備
- ・ 窓は110cmの高さに転落防止対策あり。



パブリックコメントや説明会でのご意見から

⑤ 1学年1学級で教科担任を配置できるのか。

教職員定数（教頭及び教員）【中学校】※兵庫県

学級数	定員
1学級	2人
2学級	5人
3学級	8人
4学級	8人
5学級	9人
6学級	10人
7学級	12人
8学級	14人
9学級	15人
10学級	17人

令和5年度の西脇東中学校

通常学級 1学年…1学級×3学年=3学級

特別支援学級 2学級 **合計 5学級 ⇒ 定数9人**

中学校での教科

- ① 国語
- ② 社会
- ③ 数学
- ④ 理科
- ⑤ 外国語
- ⑥ 音楽
- ⑦ 美術
- ⑨ 技術・家庭

※技術・家庭科には技術と家庭の教員2名が必要

※算数と英語の少人数指導で2名の教員

12人の教員が必要

西脇東中学校で非常勤の教科

- ① 理科
- ② 美術
- ③ 家庭

パブリックコメントや説明会でのご意見から

⑤ 1学年2学級となった場合

教職員定数（教頭及び教員）【中学校】※兵庫県

学級数	定員
1学級	2人
2学級	5人
3学級	8人
4学級	8人
5学級	9人
6学級	10人
7学級	12人
8学級	14人
9学級	15人
10学級	17人

通常学級 1学年…2学級×3学年＝6学級
 特別支援学級 2学級 **合計 8学級 ⇒ 定数14人**

中学校での教科 週の時間数

- | | | |
|------|---------|------|
| ① 国語 | ② 社会 | ③ 数学 |
| ④ 理科 | ⑤ 外国語 | ⑥ 音楽 |
| ⑦ 美術 | ⑨ 技術・家庭 | |

※技術・家庭科には技術と家庭の教員2名が必要

※算数と英語の少人数指導で2名の教員

12人の教員が必要

パブリックコメントや説明会でのご意見から

⑥ 少人数の方がゆったりと学校生活を送れるのではないのか。

【メリット①】

学習面 ① 学校行事や部活動において、児童生徒一人ひとりの個別の活動機会を設定しやすい。

生活面 ② 異学年間の縦の交流が生まれやすい。

学習面・生活面の両方

③ 児童生徒の一人ひとりに目が届きやすく、きめ細かな指導が行いやすい



パブリックコメントや説明会でのご意見から

- ⑥ 少人数の方がゆったりと学校生活を送れるのではないのか。

【メリット②】

- 学校運営 ④ 全教職員の意思の疎通が図りやすく、相互の連携が密になりやすい。
⑤ 学校が一体となって活動しやすい。
- その他 ⑥ 保護者、地域との連携が図りやすい。



パブリックコメントや説明会でのご意見から

- ⑥ 少人数の方がゆったりと学校生活を送れるのではないのか。

【デメリット①】

- 学習面
- ① 集団の中で、多様な考え方に触れる機会が少なくなりやすい。
 - ② 運動会などの学校行事や音楽会活動等の集団教育活動に制約が生じやすい。
 - ③ 中学校の各教科の免許を持つ教員を配置しにくい。
 - ④ 1学年1学級の場合、学級間の相互啓発がなされにくい
- 生活面
- ⑤ クラス替えが困難。
 - ⑥ 集団内の男女比に極端な偏りが生じる可能性がある。



パブリックコメントや説明会でのご意見から

- ⑥ 少人数の方がゆったりと学校生活を送れるのではないのか。

【デメリット②】

- 学校運営
- ⑦ 教職員が少ないため、経験、教科、特性などの面でバランスのとれた配置を行いにくい。
 - ⑧ 一人に複数の校務分掌が集中しやすい。
 - ⑨ 子ども一人あたりにかかる経費が大きくなりやすい。
- その他
- ⑩ P T A 活動等における保護者一人あたりの負担が大きくなりやすい。



パブリックコメントや説明会でのご意見から

⑦ 部活動の地域移行はようになっていくのか。



令和5年度7月現在の1・2年生の部員数

運動部男子	西中	南中	東中	黒中
軟式野球	11	2	6	6
サッカー	—	29	—	10
ソフトテニス	19	20	7	10
バレーボール	19	13	—	—
卓球	16	21	—	—
陸上競技	27	22	—	8
剣道	2	7	—	—

運動部女子	西中	南中	東中	黒中
ソフトボール	0	12	—	9
ソフトテニス	13	39	5	—
バレーボール	—	28	5	16
卓球	10	—	—	—
陸上競技	10	19	—	4
剣道	4	6	—	—
バスケットボール	19	—	—	—

※ 赤枠は単独では団体戦が組めない部活動

パブリックコメントや説明会でのご意見から

⑦ 部活動の地域移行はようになっていくのか。

令和5年度7月現在の1・2年生の部員数

文化部	西中	南中	東中	黒中
吹奏楽	15	47	12	16
美術	11	17	5	—
ベンチャー	4	—	—	—
ボランティア	—	0	5	—



※ 黒田庄中学校にはビギンがボランティア活動を実施しているが、生徒会の呼びかけにより全校生の中から有志が参加する活動となっている。



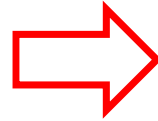
パブリックコメントや説明会でのご意見から

⑦ 部活動の地域移行はようになっていくのか。



令和5年度 市内中学校の部活動に関わる教員数

運動部	29	
文化部	9	合計：38



顧問	38	
副顧問	38	合計：76人

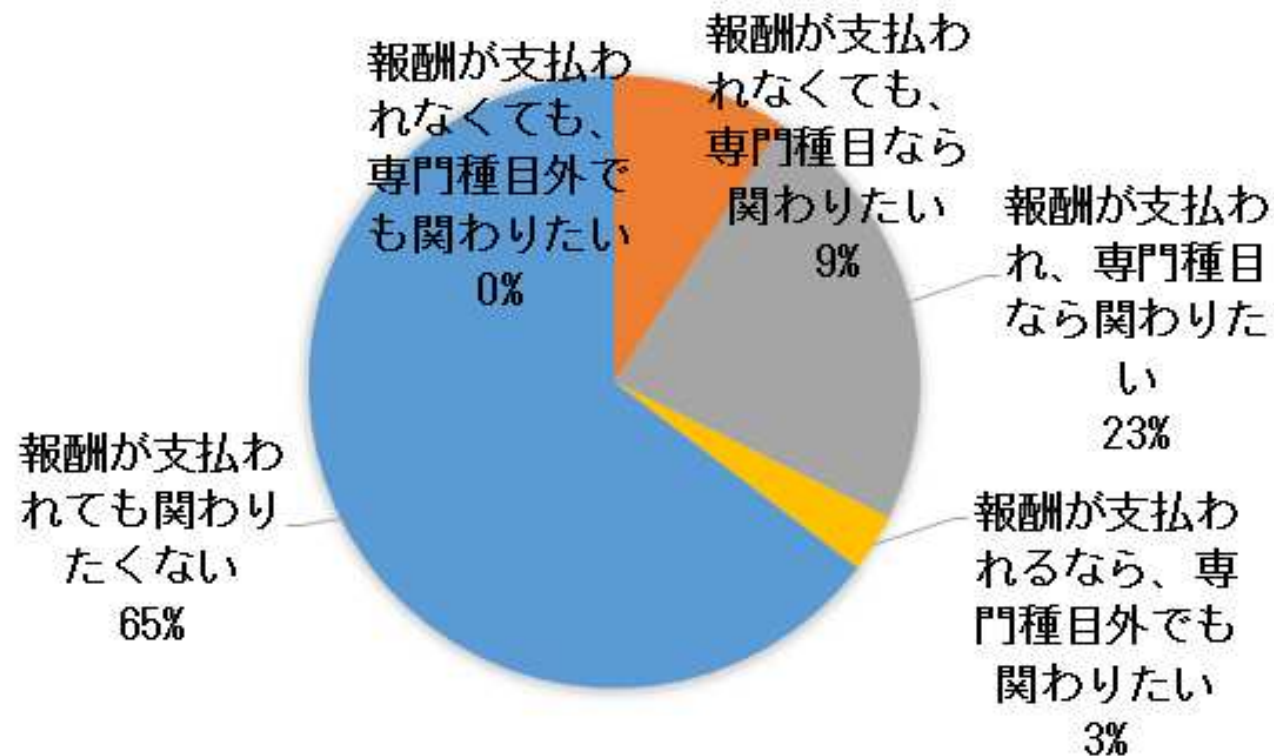
※陸上と剣道は男女一緒に活動しているため、部活数は男女合わせて「1」とする。

令和5年度 市内教員数（常勤）	合計：73人（教頭を含まない）
--------------------	-----------------

パブリックコメントや説明会でのご意見から

⑦ 部活動の地域移行はようになっていくのか。

現在の部活動が学校から離れ、地域団体が運営する地域クラブ活動が立ち上がった場合、関わりたいと思いますか。



令和5年8月学校教育課
によるアンケート
対象：中学校教員
回答数：65/70人回答

パブリックコメントや説明会でのご意見から


⑦ 部活動の地域移行はようになっていくのか。

部活動の地域移行とは

部活動の地域移行とは、部活動の指導を
地域団体や関係事業に担ってもらい、地域の活動に位置づけること


部活動の地域移行のイメージ

学校



→

地域団体や関係事業



部活動の地域移行のメリット

- ① 児童生徒の選択肢が広がる
- ② 専門的な指導が受けられやすくなる
- ③ 教員業務のスリム化が期待できる

部活動の地域移行のデメリット

- ① 指導者や受け皿の確保が容易ではない
- ② 児童生徒の安全上の不安がある
- ③ 保護者の経済的負担が求められる

【国の改革の方向性】

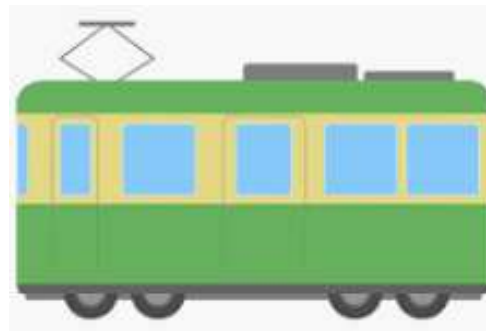
- ・ **まずは、休日における部活動の段階的な地域移行を図る**
- ・ 目標時期：**可能な限り早期**
- ・ 平日の環境整備は、できるところから取り組み、休日の取組の進捗状況等を検証し、さらなる改革を推進
- ・ **地域のスポーツ・文化芸術団体等と連携し、活動日数の増加**

パブリックコメントや説明会でのご意見から

⑧ 通学支援はどうなるのか。

遠距離通学となる子どもへの通学支援

学校の統合により、遠距離通学となる児童生徒について、**原則として通学が変わる児童生徒**を対象に、**JR等の公共交通機関**を利用する児童生徒に対しては**経済的負担の軽減**を図る、もしくは**スクールバス**による遠距離通学の**支援**を図ります。



パブリックコメントや説明会でのご意見から

⑧ 通学支援はどうなるのか。

【西脇東中学校を活用する場合】

(1) 対象地区（最も遠いと思われる民家からの自転車で移動した距離が6 km以上の地区）

地区名	距離
小 苗	10.6km
船 町	11.0km
田 高	9.7Km
石 原	8.8Km
西 澤	8.3Km
黒 田	9.3Km
大 伏	7.5km
前 坂	7.2Km
門 柳	9.1Km
(住吉町)	11.3Km
(中畑町)	6.5km

【黒田庄中学校を活用する場合】



地区名	距離
住吉町	16.6km
中畑町	11.5Km
塚口町	9.9Km
堀 町	9.9Km
高嶋町	9.5Km
鹿野町	9.0Km
比延町	8.1Km
上比延町	7.8Km
(門 柳)	7.3km



小中一貫教育を
進めるにあたって

子どもにとって
望ましい学習環境とは

子どもにとって
望ましい
学習環境とは

	今までは	これからは
子ども	主として 教えてもらう 一斉授業	自ら「問い」を立て 学んでいく授業が 展開される
	決められた 活動や行事	他者と共同して 決定を導く活動 
先生	主として 既存の内容を 教え込む 	子どもの学びを コーディネート 個別最適化

西脇市が目指す「小中一貫教育（素案）」

Design for Change

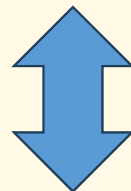
織りなすところで描く

こどもの未来

子どもの学び



見える学力
各教科



見えない学力
特別活動

(学級活動・児童会生徒会活動・学校行事) 等



【非認知能力】

「共感する力」「自尊心」「やりぬく力」

「コミュニケーション力」

「自制心」「自尊心」「合意形成力」など

子どもと先生



学校と地域



比延小学校と西脇東中学校 運動会演技の合同練習 (R4. 9)

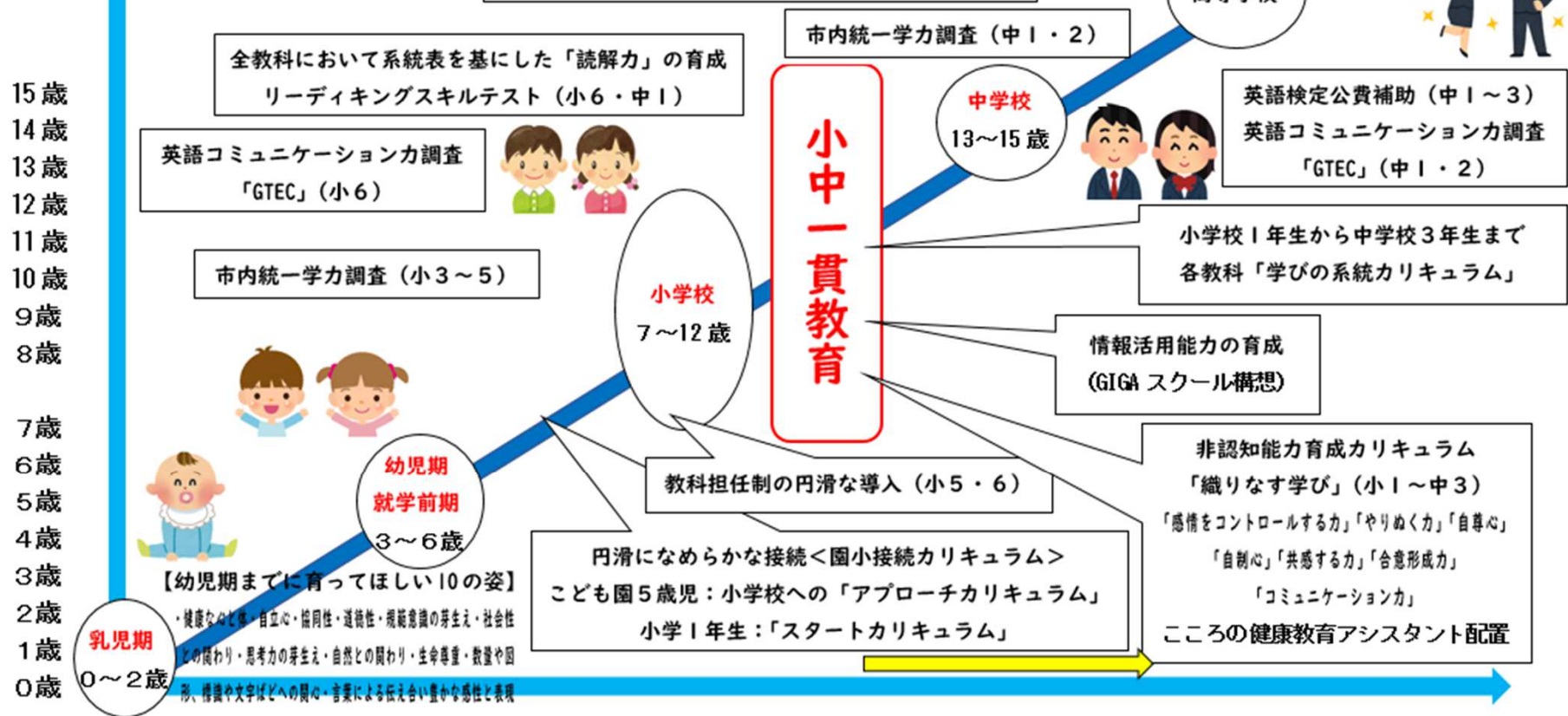


将来のイメージ図

西脇市小中一貫教育全体構想

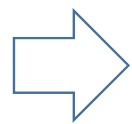
心紡いで 彩り豊かな人材 の育成

～ 織りなすところで描く こどもの未来 ～



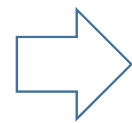
- 発達支援
- 学校園でつなぐ「特別支援教育」(特別支援学級・通常の学級での支援・通級指導)
- 卒業後へつながる特別支援

こども園



園小接続
カリキュラム

小学校



学びの系統
カリキュラム
非認知能力育成
カリキュラム
「織りなす学び」

中学校



義務教育を貫く特色ある3つのカリキュラム

- 非認知能力育成カリキュラム「織りなす学び」
- こども園と小学校をつなぐ「園小接続カリキュラム」
- 小中の教科をつなぐ「学びの系統カリキュラム」

織りなすところで描くこどもの未来 「3つの織りなす」

「子どもと先生」を織りなす

- 小中共通の教育目標・目指す子ども像を設定



小学校



中学校



小学校

「学び」を織りなす

- 9年間の学びの系統カリキュラム
- 園小接続カリキュラム
- 非認知能力育成カリキュラム

「学校と地域」を織りなす

- コミュニティ・スクール設置を目指した学校運営